

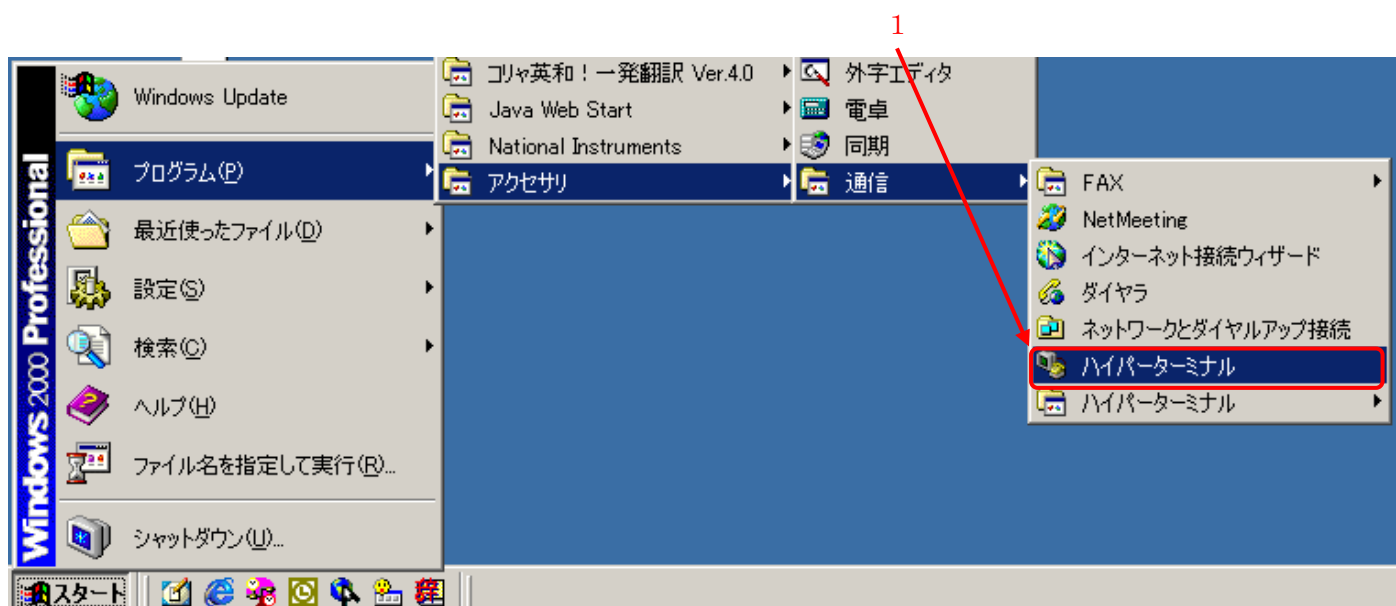
RS232C 接続状態のチェック方法

<WTVIEWER接続時の注意>

電力計WTシリーズ用のアプリケーションソフトウェアWTVIEWERとの接続を確認する場合は、WTのターミネータ設定を必ず「LF」に設定してから通信チェックしてください。その他の設定についてはWTVIEWERソフトウェア起動時に表示されますのでご確認ください。また、接続ケーブルについても再度ご確認ください。

<確認方法>

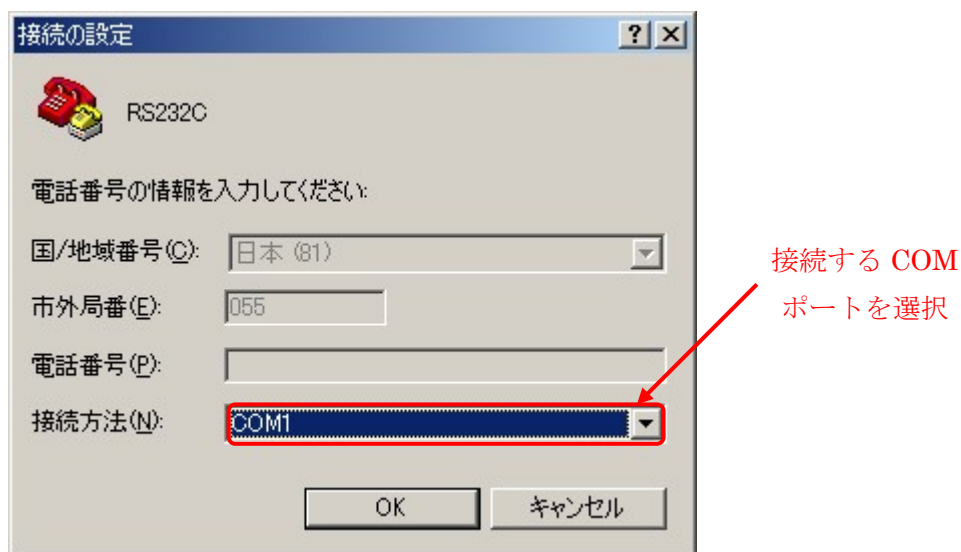
1. タスクバーの「スタート」より「プログラム(P)」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を起動する。



2. 「接続の設定」が表示されるので、「名前(N)」の欄に任意の名称を設定する。
(ここでは「RS232C」とした)
設定できたら「OK」ボタンを押す。



3. 「接続の設定」の続きの項目が表示されるので、「接続方法(N)」に実際に制御対象機器(PZ4000)と接続する PC 側の COM ポートを設定する。(ここでは「COM1」)
設定できたら「OK」ボタンを押す。

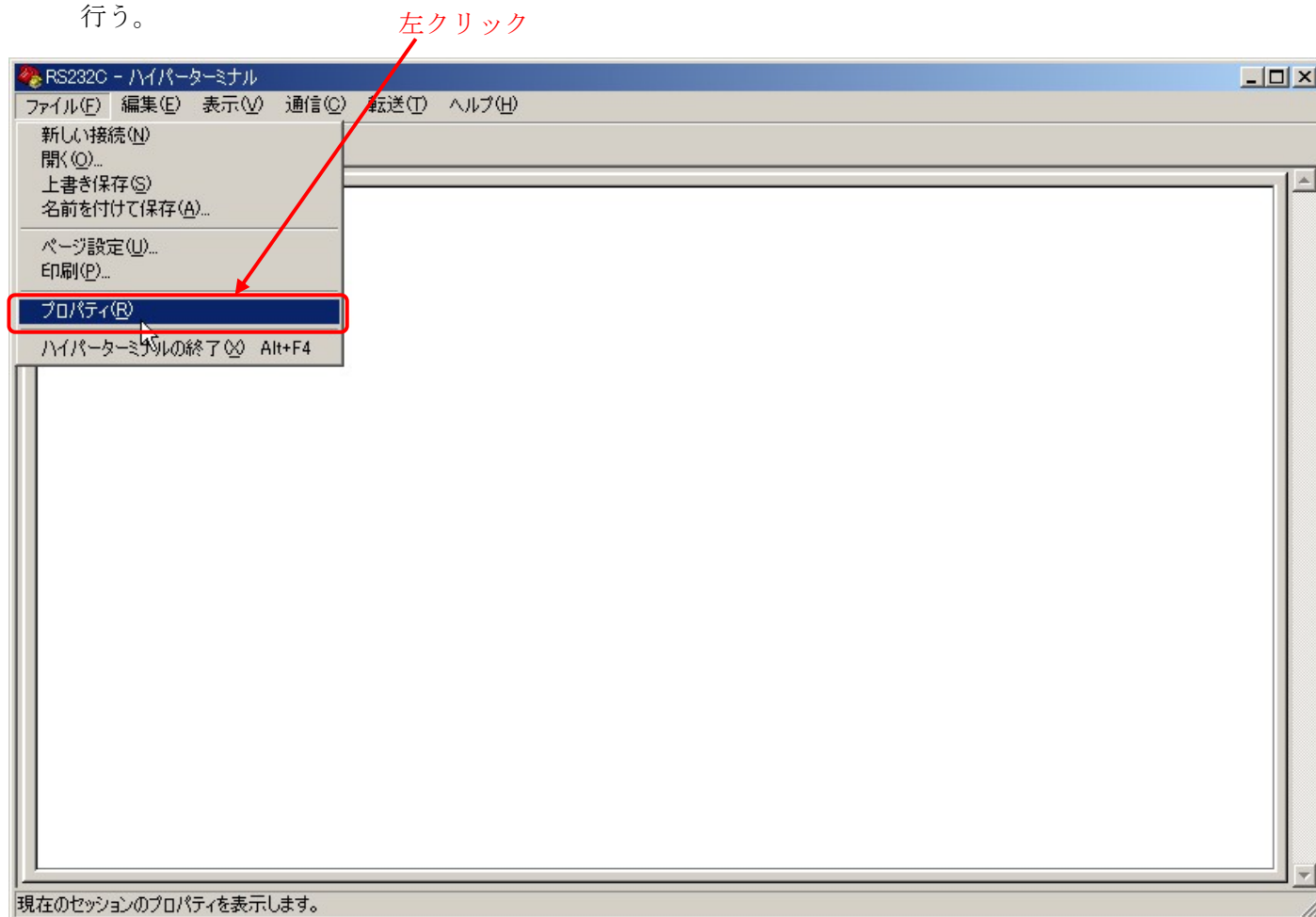


4. 「COM1のプロパティ」が表示されるので以下のように設定し、設定ができたら「OK」ボタンを押す。

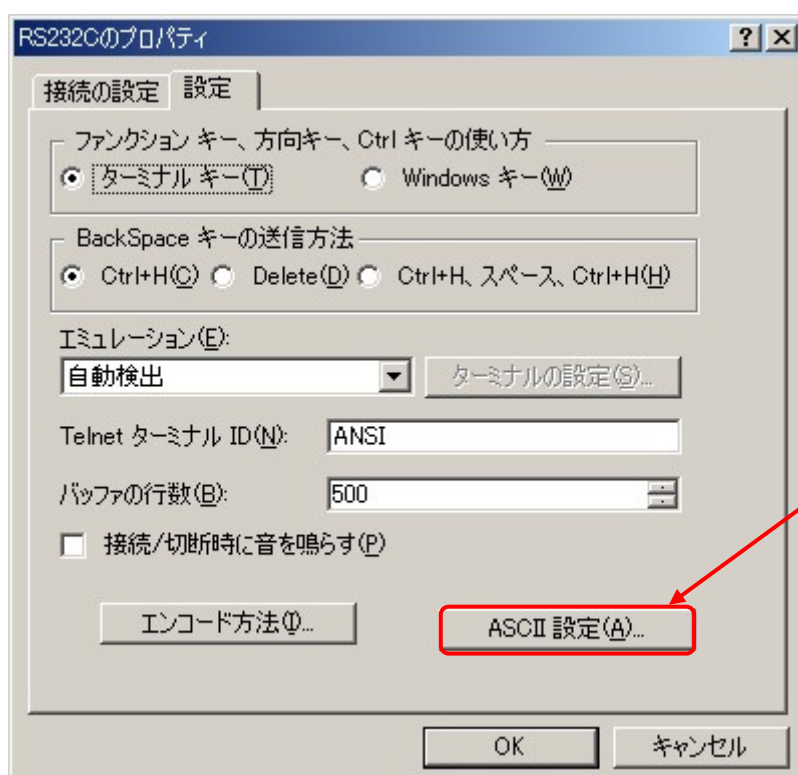
ビット/秒(B) : 9600
データビット(D) : 8
パリティ(P) : なし
ストップビット(S) : 1
フロー制御(F) : なし



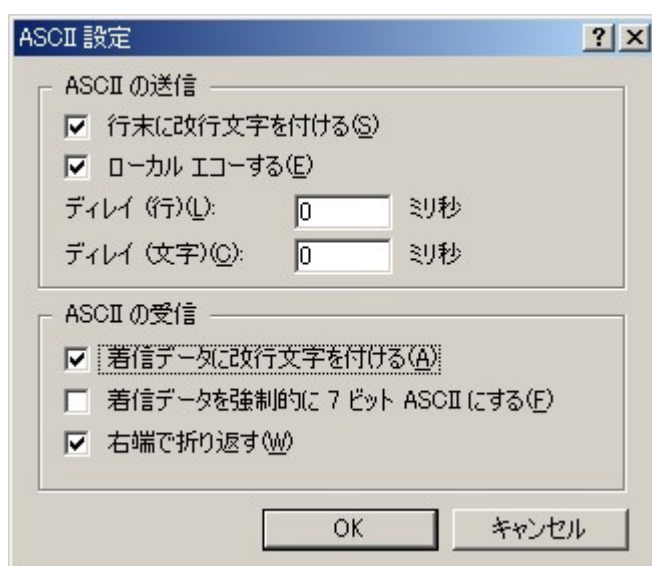
5. 次にメニューバーの「ファイル(F)」→「プロパティ(P)」の上にマウスカーソルを移動し、左クリックを行う。



6. 「RS232C のプロパティ」が表示されるので「設定」タブシート内の「ASCII 設定(A)」のボタンを押す

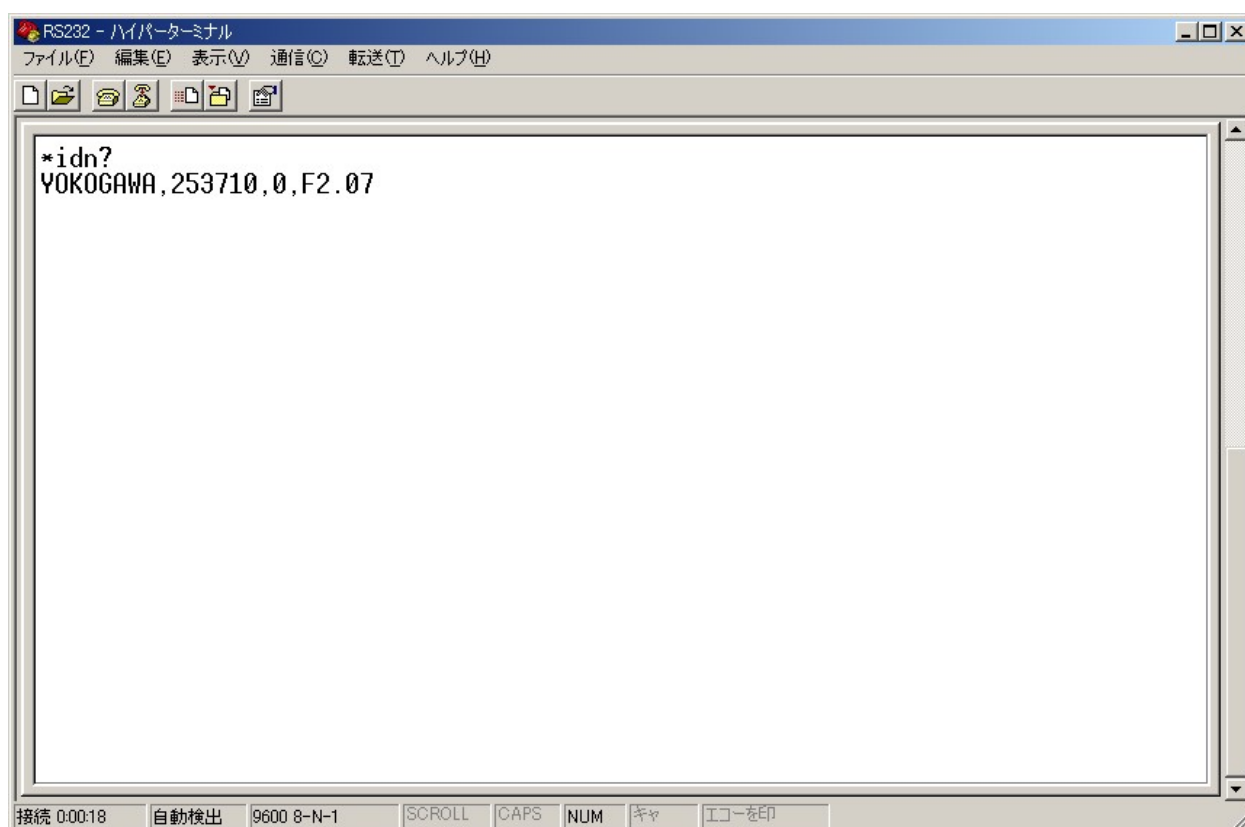


7. 「ASCII 設定」が表示されるので以下と同じようにチェックを入れ「OK」ボタンを押す。
(初期状態では「右端で折り返す(W)」しかチェックされていないので、その他はチェックする必要有)



8. 設定がすべて完了したので、RS232 により通信コマンドの応答テストを行うため、「*idn?」を入力しリターンキーを押す。

正常動作している場合は以下のように応答コードが帰ってくる。(ここでは「YOKOGAWA,253710,0,F2.07」)



以上